

2008年3月 1日発行

NO.14

カ ム ニ テ イ ー
翔 夢 N i t y

発行：NPO法人「翔夢」

発行責任者：西脇 朗夫



2月1日に行われた運動会での綱引きの場面です。

特定非営利活動法人 翔夢

大阪市平野区長吉長原2-14-15
 TEL(06)6760-6167
<http://www.npo-cam.org/>
 e-mail: nandemosoudan@npo-cam.org

就労継続支援事業

ドリームネット
 TEL(06)6760-6181

地域活動支援センター

ハートネット
 TEL(06)6760-5343

相談支援事業

ホープネット
 TEL(06)6760-6167

も く じ

- P 1 表紙(運動会の写真)
- P 2 ジョイネットオープン
- P 3 運動会に参加して
- P 4 新職員紹介
- P 5 障害児教育交流会
- P 6 天王寺駅点検調査
- P 7 ハイキング紹介
- P 8 就労応援します

三月に生活介護型通所施設

「ジョイネット」オープン

「翔夢」の夢がまた一つ叶います。障害が重度でどこに行ってもお客様扱いだった方や、精神疾患があり集団を必要としているが軽作業も難しいと思える方。また、全身障害であり作業をすると二次障害の恐れのある方たちが主役になれる通所の施設を三月一日にオープンします。

人間は誰でも人に愛される権利があります。集団の温もりに触れる権利があると翔夢は考えています。しかしいま、障害者を取り巻く環境はどう

でしょうか？障害者自立支援法が施行され、応益負担等で施設をやめなければならなかったり、障害が重度で施設に合わないことやめさせられる。そういった相談が数多く翔夢に舞い込んできます。そしてその都度入所できる施設を探したり、翔夢で受け止めたりしてきま

して軽作業を望まない方はすることがなくお客様の状況で、その方の要望を充分に受け止めることが出来ませんでした。重度知的障害をもたれた方もなかなか受け止

めてくれる施設が見つからず困難な支援になっていました。また、精神疾患を患っている主婦の方の相談も急増しています。この方々も軽作業はあまり望んでおられず、訴えの主は「毎日がさびしくて孤独だ。何とかしてほしい」でした。その要求に我々も充分にこたえられないのが毎日の苦しみでした。そしてやっとそのような方の思いをかなえられる施設が完成することになりました。仕事はしないで思いつきり集団で楽しめる施設を

誕生させることが出来ました。身体障害の方、知的障害の方、精神障害の方もすべての障害者が共同で楽しめるスペースが出来上がったのです。

取り組み内容は二グループに分け、ひとつのグループは重度の知的障害を持つ方々のグループで、主に集団作りを目的にした取り組みで身体を動かして、出来るだけ共同でペインティングや工作、音楽リズムなどを取り入れ毎日違う取り組みをしていきたいと考えています。具体的な取り組み内容はこられた方の要求に合わせてどんどん変化させていこうと思っています。

もうひとつのグループ



運動会に参加して

は音楽を楽しんだり、いろんなもの作ったり、（当然おかし作りなども）プチ旅行に行ったり、集団で楽しめる企画満載です。取り組む内容は職員が提案するのではなく、自分たちで企画をしてどんどん広げていこうと思っています。

地域の方も参加が出来る、全ての方が集える施設を目指しています。まだまだ受け入れが可能なので、障害のある人もない人も一度遊びに来てください。心よりお待ちしております。

西脇

二月一日に第十五回市内作業所・デイケア交流運動会が大阪市中央体育館で行なわれ、メンバーさん&職員の約二十名で参加しました。いつもは静かなメンバーさんも日頃のストレス発散なのか？張り切って競技に参

加しました。パン食い競争は怖いほどの熱気があふれていました。玉入れ・大玉ころがし・綱引きなども殆ど全員参加で挑みました。メンバーさんの意外にも積極的な一面も見る事ができびっくり。頑張ったけれど我が青チームは惜しくも四位でしたが、久しぶりに体を動かしたメンバーさんたちは満足気でした。参加することに意義がある！まさにその通りと実感しました。

盛り上げ役で大活躍のYさん。Yさんの笑い声が体育館中響きわたりました。寒かったけれども作業所とは違うメンバーさんの一面も見え、一生懸命な姿もまじかにし、いい経験となりました。他の作業所やデイケアの方もいましたが、やはり他の作業所のメンバーさんたちとの交流がないのが残念に感じました。

今度は四月のソフトボール大会です。四月に向け参加されるメンバーさんは頑張ってください。また、応援にいくメンバーさんも、私と一緒に声援を頑張りました。

鎌田

新職員の紹介

今までの人生の中で最大に悩み苦しんだ時、ある方から『悩みがあることは、不幸ではない。悩みを乗り越えることが幸福。苦労を力に、悩みを智慧に、

昨年春にメンバーとして入所致しまして、今年一月より職員の一員に加わり働いております。職員というより給食のおばちゃんです。作業所では、当初から給食を担当しながら職員や様々な障害を持つ方と関

わってききましたが、私にとっては若いメンバーさんや職員さんは、子供たちの様な存在で悩みを聞いて、アドバイスしたり、叱咤激励しながら目まぐるしく変化する日々を送っています。まだまだ勉強不足で大変な時がありますが、本当にボランティア精神で望まなければ職員は努まらな

いと実感しています。

感動しました。

今年一月から職員として働かせて頂く事になり、まもなく二カ月がたとうとしています。そんな中、翔夢では度々入ってくる相談に対し無償で真剣に対応している姿や、障害を持つ方々が一生懸命作業をしている姿を見て込み上げるものを感じ、こんな施設があることを知らなかった私は

障害を持つている私は、

ボランティア精神で
泊 久子

悲しみは優しさになる』と言って頂き絶対に負けないと勇気が出て何があっても乗り越えていけると感じる事ができました。それでも負けそうになる心が登場することもありますが、そんな自分に『楽しみ、楽しみ』と言い聞かせ、今いる場所で何ができ

るかを悩みながらも誠実に忍耐強く役にたてる人になれるようメンバーさんや先輩方と一緒に頑張っていきたいと思えます。まだまだ無知で無力な私で、ご迷惑を掛けることもあるかと思いますが宜しくお願いします。

『負けない心で』

古矢 洋子

今年一月から職員として働かせて頂く事になり、まもなく二カ月がたとうとしています。そんな中、翔夢では度々入ってくる相談に対し無償で真剣に対応している姿や、障害を持つ方々が一生懸命作業をしている姿を見て込み上げるものを感じ、こんな施設があることを知らなかった私は

お仕事おまかせください!

翔夢では、メンバーの障害に応じて、パソコンを使っての各種作業や軽作業などを分担しています。



- 各種データ入力
- 名刺・チラシ
- インターネット検索
- ホームページ制作・更新
- 組み立て作業
- 袋詰め作業 など

お気軽にご相談ください

大阪の障害児教育

運動交流会に参加して

去る二月四日、アピオ大阪で府下全域から八団体代表数名と関係者・賛同者が集結し、「いのちと笑顔輝く教育と学校を！」を合い言葉に大阪交流会が行われました。

特別報告では、学校ぐるみの運動が実り堺に養護学校新設（二〇〇九年四月開校）に至るまでの長く苦しいたたかひの末、とうとう勝ち取った経過ビデオが上映され、その御苦労や運動に勇気づけられるように次々と発言、訴えが続きま

した。その内容は耳を疑うような信じられない事柄ばかりでした。過密・過

大・教室が足りないなどなど……。時間がまるで足りずに制限される中、これだけはどうしても！と各団体共必死です。つづいて、教育現場の悲惨な現状報告はとどまることを知らない位続きま

した。重度の障害児を含むすべての子が権利として義務教育を受けられるようになって二十一年。

昨年「特殊教育」から

「特別支援教育」に移行しましたが、何の整備もされない中での教育現場はそれはそれはひどい状況です。それでも現場の先生方はがんばって下さっています。長年障害児教育の研究と実践に取り組んでこられた、桜美林大学教授の茂木俊彦さんのその日の朝みたばかりの新聞記事「重度の障害を持ち、寝かせ切りにされた子供達に教育の営みが成り立つということ」を教師と福祉・医療関係がともに発見したことは重要です。軽度の子どもは言葉は多くても本当の要求を言えないことがあります。願いを理解するために「子どもに尋ねる」という姿勢は大切に

す」という言葉を思い出していました。今こそ！先人に学び続ける時だと思えます。できないことを悲しまず、出来た喜びを共有し小さな成長をよるこび合う。親・先生・応援して下さる多くの方々と協力しみんな力を合わせて、本物のいのちと笑顔が輝く教育と学校の実現に向けて一人でも多くの人と共に楽しく活動していきたいと切に願った交流会でした。

坂田 京子



天王寺駅点検で思うこと

大阪視覚障害者の生活を守る会

堀部 光雄

近頃ガイドヘルパー制度のおかげで、私たち視覚障害者の外出もずいぶん楽になりました。しかしガイドヘルパーは、仕事には利用できないし、こっそり出かけた所も在ります。

私たちの単独歩行でもっとも危険なのは、プラットホームからの転落です。転落したとき運悪く電車が入ってきて、命を落とすという事故も後をたちません。

今からちょうど三〇年前、東京の高田馬場駅で中途失明の上野たかしさ

んがホームから転落し、入ってきた電車にはねられ即死するという大変痛ましい事故がおきました。その後国鉄の安全設備を問ういわゆる「上野裁判」が起こされました。この裁判の中で当時の国鉄は、今後安全設備について努力することが約束され和解しました。その後ずいぶん多くの点字プロックが敷設され、私たちの歩行に計り知れない効果をもたらしました。この上野さんの事故が起きたのが二月一日。今から一〇年ほど前から

私の所属する全日本視覚障害者協議会（全視協）ではこの二月一日を「死亡ゼロの日」と位置づけ、全国一斉に点検活動を行っています。

今回大阪では、二月三日に天王寺駅で行いました。JR・近鉄・地下鉄の三つに組み分けし、私はJR天王寺駅の組に加わりました。JR天王寺駅は、紀勢線・阪和線・大阪環状線・関西線があり、出入口も西と東の二つあります。その上、

阪和線や関西線から環状線に乗り入れている、和歌山方面への快速の乗り場が三番線や四番線であつたり、十七番線であつたりしますし、環状線内回りも十四番線で

あつたり、十八番線であつたりで視覚障害者泣かせの駅です。

環状線と関西線は、階段毎にホームが分かれていて目的のホームを見てけやすいのですが、紀勢線・阪和線は、車止めからホームが串状に伸びています。ですから目的のホームを見つけるのが難しく、また危険でもあるのです。今回私が知りましたことは、紀勢線や阪和線の安全な乗り方、トイレの場所の確認でした。

阪和線・紀勢線は、車



止めにそって点字ブロックがあり、そこから直角にホームごとに点字ブロックが敷かれています。ところがわかりました。ですから車止めにそって点字ブロックの上を歩き、ホームに繋がっている点字ブロックを数えていけば目的のホームが見つかるようになります。

それと私は大変お酒が好きで、そのためよく駅でトイレに行きたくなります。ですからできるだけ多くの駅のトイレを覚えておくよう心がけています。今回も東口のトイレが改札のすぐ右側にあることを知りました。

それと驚いたことは、案内放送が異常に少なかつたことです。とくに

登山ハイキング(八尾編)

近鉄八尾駅前のイトーヨーカドーから東へ進みT字路を左へ向かう。きれいな木の並ぶ川ぞいを見ながらグランドの所を右へ曲がる。そのまま直進して外環状線を目指します。さらにまっすぐ東へ向かう。喫茶店が見えたらまだまっすぐです。向かう途中から北方向へ向かう曲がる道で家の並びがあります。一つ目の右へ曲がる角を直進して山の麓まで行きます。途中に公園が有りますので目安にして下さい。登りつめたら大阪の絶景が望めます。おいしい湧き水も飲めますよ。

要注意
 登山口からはつぶしてもしてもいい靴を用意して下さい。
 三十度位の上り坂を一時間登り続ける。
 後、500mlのペットボトルを持って行ってください。



登山道



途中にあるお地藏さん

この記事は、ハートネットに来られている大橋さんに書いていただきました。

阪和線がひどかつたように思いました。入線時と発車時にしか自動放送が流れなかつたのです。放送を頼りに歩く私たちは

「これは大変困るのです。放送がうるさい」というわがままな乗客に駅側が屈したのでしょうか。これからも私たちが安心して鉄道が利用できるようにこの調査活動を続けたいと思っています。

障害者の方の一般就労を応援します

一度NPO法人「翔夢」までご連絡ください

NPO法人翔夢では障害者の一般就労の相談・援助も行っています。



希望はしているが、パソコン等のスキルがない

人とのコミュニケーションが苦手
 いろんな理由で諦めている方は
 ぜひ一度ご相談ください。

NPO法人翔夢

障害者ふれあい交流センター
 大阪市平野区长吉長原2-14-15
 TEL: 06-6760-6167

担当 西脇・雑賀

24時間テレビ 「愛は地球を救う」から

福祉車両(スロープ付き自動車)を
 いただきました。送迎等大切につ
 使わせていただきます。

ありがとうございました



贈呈式

募金振込先

郵便振替

口座番号

00980-8-317336

口座名称

特定非営利活動法人 翔夢

三菱東京UFJ銀行 平野南口支店

普通 4636394



車いすのまま乗車できます